

総合教育会議会議録

令和2年1月28日

令和元年度第2回坂井市総合教育会議 会議録（概要）

日 時：令和2年1月28日（火） 午前9時30分より10時30分まで
場 所：坂井市役所 第二別館 大会議室

【会議日程】

1 協 議

(1) 第二次坂井市総合計画（案）の概要について

- ① 第二次坂井市総合計画（案）について
- ② 市総合計画の教育分野と市教育振興基本計画について
- ③ 現行教育振興基本計画の評価と課題について

(2) その他

【出席者】

坂本憲男市長、川元利夫教育長、田中典夫教育長職務代理者、宮崎美恵子教育委員、若松静栄教育委員、牧田靖夫教育委員

総合政策部 加藤政策監（総合政策部長（兼））、三上企画情報課長

総務部 山田総務部長

教育部 三上教育部長、由川次長（教育総務課長）、杉田次長（文化課長、丸岡城国宝化推進室長（兼）、みくに龍翔館長（兼））
橋本教育審議監

学校教育課 奥出課長

生涯学習スポーツ課 古川課長

丸岡図書館 齊藤館長

事務局書記 井尻参事、矢尾参事

【会議概要】

市 長 （あいさつ）

昨年に引き続き、雪のないおだやかな新春を迎えている。

本市では、平成20年に坂井市総合計画を策定し、まちづくりの基本は「ひと」とであるという姿勢のもと、次世代を担う子どもたちの夢を育む故郷となることを目指して、市政の発展に努めている。

現在、第二次坂井市総合計画の策定作業に取り組んでいるところである。このあと、第二次坂井市総合計画の概要について、担当課長から説明を予定しているが、「輝く未来へ みんなで創る希望のまち」を将来像として、次世代を担う子どもたちの夢を育み、すべての人が個性を発

揮できるまちづくりを目指していきたいと考えている。

また来年度には、教育振興基本計画の策定にとりかかるとのことであるので、この市総合計画を踏まえ、次期計画につなげていただきたいと思っている。本日は、活発なご意見をお聞かせいただき、有意義な会議となるようお願いしたい。

市 長 第2回坂井市総合教育会議を開催する。

(1)第二次坂井市総合計画（案）について、事務局の説明を求める。

企画情報課長 （第二次坂井市総合計画（案）について説明）

市 長 政策監、総務部長からも、第二次坂井市総合計画（案）について一言ずつお願いします。

政策監 今ほど担当課長から説明があったが、今回の計画、昨年から今年にかけて二年にわたり、市民の方のアンケート、審議会の委員の皆さまのご意見、さらには市外の皆さまのご意見、いろんなご意見を聞きながらみんなで作り上げた計画だと思っている。

現時点で一番いいものができたのではないかと考えている。この計画の基本構想の中でも謳っているが、総合計画に必要な視点として「坂井市を担う人を育てる視点」ということを第一に掲げている。やはり計画を作っても形だけでは意味がない。そこに人が魂を入れることが大事だと思う。この地域この国のことを将来憂いて行くとか思いをはせていく。そして実行していく。そういった人材の輩出に教育は大切な分野だと思っている。

来年度、教育振興基本計画の改訂版を作ると伺っているが、ぜひ市総合計画の精神を教育振興基本計画のほうにも引き継いでいただきたいと考えている。よろしくをお願いしたい。

総務部長 住みよい街ということで、評価をいただいている。子ども子育て、幼保園こども園、小・中学校の施設整備を進めてきた、そういった成果が見えてとれるのかなと思う。また、共同のまちづくりが最も重要度が高いということである。もう一方で安全・安心の部分への市民の関心が高まっている。総務としても交通や防犯、防災を柱に取り組んでいるが、今後も引き続いて取り組むべき事業として様々な事業を入れている。また、市の役割また自主防災組織のような地域の役割を發揮させながら取り組んでいきたいと考えている。

直近の課題としては、庁舎の増築ということで鉄骨を組んでいるが、

8月末完成予定ということで、順調に進んでいる。増築部分が完成すると、9月頃から本庁舎からの移転が始まる。教育委員会も増築棟の4階に移転することになる。そういったなかで、まず、市民目線の効率的な組織の改編と、併せて行財政改革、効率的にどうやって運営していくかという作業に取り掛かったところである。市の行政の根幹としてしっかりと考えていきたい。

市 長 意見等はないか。

若松委員 資料3 ページ「新たな視点や強化する点」として、①共生②人口減少（少子高齢化）への対応が挙げられている。少子化を止める。少しでも人口を増やすために、若者の結婚相談活動を婦人福祉協議会でメインとしてやっているが、これを行政と結び付けてもう少し活発に出来ないかと思う。行政でも、親の婚活や若者の竹田での婚活イベントなどいろいろやって下さっているが、もう少し他の団体とのネットワークを強くして、効率を上げると、少子化に少しでも貢献できるかなと思う。よろしく願いたい。

政策監 市でも出会いの場の創出に力を入れているつもりではあるが、足りない部分もあると思うので、いろんなご意見をいただきながら、若い人たちが参加しやすいような配慮をするなど、色んな事を考えていきたい。

若松委員 親は熱心であっても、本人はそうでないと成り立たない。せっかく大事な事業をしているのだから、イベント後の追跡調査や、結婚相談員との話し合いの場をもっとくれるといいと思う。

政策監 次につながるようにはどうしたらいいか、ご相談させていただきながら進めていきたい。

市 長 3、4年程前に商工会青年部で男女合わせて百何十人の婚活イベントを行ったときには、13組のカップルが誕生した。その後、結婚してくれるのが理想ではあるが、プライバシーのこともあり、イベント後の追跡調査は止めたほうがいいという意見が多かった。婚活イベントをしてどんな成果が出たか、はっきりするのはなかなか難しいところがある。

市 長 (2)市総合計画の教育分野と市教育振興基本計画について、事務局の説明を求める。

教育総務課長 (市総合計画の教育分野と市教育振興基本計画について説明)

市 長 意見等はないか。

市 長 (3) 現行教育振興基本計画の評価と課題について、事務局の説明を求める。

各課長 (現行教育振興基本計画の評価と課題について説明)

市 長 意見等はないか。

牧田委員 ICT化に向けた環境整備方針ということで、坂井市の方針が、児童生徒 7,700 人に対してタブレットを一人一台ずつ配備するようになりたいということか。

教育総務課長 国が方針を打ち出したところで、今、どこの自治体も国の方針に基づいてどのように整備していくか考えているところである。国は令和 2 年～5 年度で整備をしていきなさいということである。

牧田委員 東京では、生徒にタブレットを 1 台ずつ配備し、タブレットで授業をしている学校もあると聞いている。そうすれば、先生も少なく済むとは思いますが、自分はそういうことはして欲しくない。子どもには、外で元気に遊んで欲しいと思っているが、時代の流れというのはあるのかなとも思う。

教育総務課長 東京の方では、タブレットを教科書代わりにしているところもあるかも知れない。日本は ICT を使った教育が世界各国に比べて遅れているということで、国の補助を活用しながら、今後どのように整備していくか考えていきたい。

教育長 今回は国の総合経済対策の一環として、産業の面が大きいので、難しい部分がある。教育環境の整備が進んでいくことは大変嬉しいことではある。

田中委員 ICT は、便利で機能的で活用していくのは大変良いことだと思うが、子どもたちが情報を鵜呑みにしてしまう怖さがある。情報が正しいものかという選択ができるよう、スマートフォンの指導も含めて情報リテラシーをきちんと指導していくことが大切だと思う。ICT の良いところは文字だけではなくて、音声や映像、全てが含まれてくるので、子どもたちの興味関心を高めるものとしては非常に有効な手段だと思う。逆に今度はそれを生かす先生方の技術がさらに求められて、それがさらに多忙化に繋がるのではないかと懸念している。

教育審議監 いくら新しい時代になっても、私達の中で生きているのは人である。

たとえここにタブレットがあっても、人と人が話し合っ、人と人と協力して、一緒になって一つの方向性を見出したり、あるいは違った意見を取り入れたりするようなことは普遍的だと考えている。

ICTには、遠くの人と交流ができた、目の前にないものを見れたり、沢山のメリットがある。タブレットのなかにどういったソフトやアプリを入れるかということも課題であるし、それを授業でどのように展開していくかは、今後、研究していかなければならない。

ただ、タブレットが来たということではなく、どんな風にこれからの子どもたちの授業に活用できるか。ということを見ながら、考えていきたい。

そしてこれからも、子どもたちがそこに居て、子どもたちが意見をディスカッションしながら、違いを認め合い、子どもたち自身が考え続けるという授業のスタイルは普遍的で変わらないと考えている。

若松委員

青少年の健全育成のことで、家庭教育支援員の選出方法は？何人いるのか？家庭の大変な問題を抱えた方々への支援はとても大変な仕事だと思うので、見識と指導性があり、時間に余裕がある人でないといけない。研修も必要だと思う。現状はどうか。

生スポ課長

現在、各町ごとに約10名ずつ、合計40名ほどの支援員さんがいる。教員や保育士のOBが中心であるので、学校との連携がしやすい状況である。選出方法は、教員や保育士のOBに依頼し、決裁をとっている。

市長

その他ということで、他に何かないか。
(意見なし)

市長

これをもって本日の会議を閉会する。